【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成26年9月25日(2014.9.25)

【公開番号】特開2013-217321(P2013-217321A)
【公開日】平成25年10月24日(2013.10.24)
【年通号数】公開・登録公報2013-058
【出願番号】特願2012-89621(P2012-89621)
【国際特許分類】
Ｆ０１Ｌ　13/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０１Ｌ　13/00　　３０２Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成26年8月8日(2014.8.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
内燃機関の回転に従い回転する回転カム（１０）と、揺動可能に設けられて揺動時にはバルブ（７）を駆動する出力アーム（２０）と、出力アーム（２０）に対する相対揺動が可能となるように設けられて回転カム（１０）に当接する入力部材（３０）と、前記相対揺動が不能となるように出力アーム（２０）に入力部材（３０）を連結した連結状態とその連結を前記相対揺動が可能となるように解除した非連結状態との間で切換を行う切換装置（４０）とを含み構成され、該切換によりバルブ（７）の駆動状態を変更する可変動弁機構において、
入力部材（３０）が、回転カム（１０）に当接するリング状の入力ローラ（３８）と、入力ローラ（３８）を回転可能に支持するように入力ローラ（３８）に挿入され、非連結状態のときには前記相対揺動をする揺動ピン（３１）とから構成され、前記相対揺動の中心（Ｂ）が、入力ローラ（３８）の内方の入力ローラ（３８）の回転中心（Ａ）とは異なる位置に配置されたことを特徴とする内燃機関の可変動弁機構。
【請求項２】
切換装置（４０）は、連結状態のときに揺動ピン（３１）と出力アーム（２０）とに跨り、非連結状態のときに揺動ピン（３１）と出力アーム（２０）とに跨らない切換ピン（４４，５４）を含み、
連結状態でみて、切換ピン（４４，５４）の中心（Ｃ）が、入力ローラ（３８）の内方の前記相対揺動の中心（Ｂ）とは異なる位置に配置された請求項１記載の内燃機関の可変動弁機構。
【請求項３】
連結状態でみて、前記相対揺動の中心（Ｂ）と切換ピン（４４，５４）の中心（Ｃ）とが、入力ローラ（３８）の回転中心（Ａ）に対して反対側に配置された請求項2記載の内燃機関の可変動弁機構。
【請求項４】
揺動ピン（３１）は、支持ピン（３３）により出力アーム（２０）に支持され、支持ピン（３３）の中心が前記相対揺動の中心（Ｂ）である請求項１～３のいずれか一項に記載の内燃機関の可変動弁機構。
【請求項５】

支持ピン（３３）は、出力アーム（２０）の側方に突出し、その側方に突出した部分に、非連結状態のときに入力部材（３０）を回転カム（１０）に付勢する捻りコイルバネ（６０）が外嵌された請求項４記載の内燃機関の可変動弁機構。